

所、行政機関の庁舎などに成立し、翌2019年7月から学校、児童福祉施設、病院、診療所が全面施行されました。同法は、2018年7月に施行され、たばこを吸わない人が副流煙による受動喫煙を避ける対策がより厳格化されています。

「改正健康増進法」が2020年4月から施行されました。

この法律の基本的な考え方である「望まない受動喫煙をなくす」影響が大きい子ども、患者等に特に配慮」「施設の敷地を原則禁煙とするなど、段階的に進められてきました。ちょうど「ラグビーワールドカップ」が開催された時期です。

そして今回、バーやレストランなどで「マナー」で定多數が出入りする場所での喫煙が原則禁止となります。喫煙所の設置ルールも厳しくなり、喫煙所や喫煙スペースもたばこの煙が外にもれないよう密閉型で換気設備が必須となり、喫煙スペースの有無をステッカーなどで掲示することも求められます。

そこで今回、「マナー」と「ルール」に分けて、一般的に見ても対策が不足している日本の受動喫煙防止対策を一気に推し進めたものが「マナー」になります。

| 2019 7月                      | 2020 4月                             |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1/24 一部施行① 喫煙する際の周囲の状況への配慮義務 |                                     |
|                              | 7/1 一部施行②原則敷地内禁煙<br>(学校・病院・児童福祉施設等) |
|                              | 4/1 全面施行<br>原則屋内禁煙                  |



## 充実・安心のプランを用意

皆さまは健康診断を受診されていますか？当クリニックでは、ご自身の健康管理のために、健康診断は定期的に受診していただくようおすすめしています。



当クリニックの人間ドックは、人間ドック学会などに準拠した検査内容を標準コースとして実施していますが、昨今の健康志向の高まりで、オプション検査を選んで

「あたまの健康チェック」、ハチ毒に対する抗体を調べる「蜂抗体検査」、65歳以上の方を对象とした動脈硬化や心臓の検査をお得に受けられる「プラチナセット」などを追加しまして、たくさんの健康情報があふれる中で、オプション検査を選んで

検査の内容や金額だけではなく、年代別のおすすめの検査や昨年度の男女別実施数ランキン

グなどを掲載しており、おすすめの検査につ

てあります。受診を心よりお待ちして

います。

りながら受診者の検査ニーズは多様化しており、こうした声にお応えするため豊富なオプション検査をご用意し、一人ひとりに合った「オーダーメイドドック」に対応しています。

今年度は、新たなオプション検査として認知機能の状態調べる「あたまの健康チェック」、ハチ毒に対する抗体を調べる「蜂抗体検査」などを行っており、参考といたく際の参考といたします。

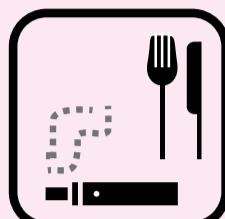


設の類型・場所ごとに「対策を実施」の徹底し、た対策が推進され、これまで「マナー」であつたものが「ルール」に変わります。



○喫煙が可能  
×飲食等不可

施設の一部に設置可



○飲食等可能  
施設の一部に設置可

一般的の施設喫煙者が設置可能

一般的の施設喫煙者が設置可能（経過措置）

日本禁煙学会でも新型コロナウイルスの蔓延で「東京2020」は延期となりました。東京オリンピック・パラリンピックを強く意識したものです。残念ながら新型コロナウイルスの影響として、①高齢（60歳以上）②喫煙者（現喫煙者及び過去喫煙者）③喘息④糖尿病・肝疾患などの慢性疾患をあげています。

ぜひこの機に喫煙者は禁煙を目指し、そして私たちみんなで受動喫煙防止に目を向けてクリーンな社会環境づくりを進めましょう。（健康増進課 岡本沙央理）



服用する場合もあるようです。また、保険が利くエキス剤が限られているという問題もあります。

一方、少数ですが、自費診療で煎じ薬やエキス剤をよりきめ細かく処方している病院もあります。漢方を自費診療で処方されている先生方は、漢方に関する経験や知識が豊富であり、安心感をもって

## 保険適用のエキス剤が一般的

### 自費診療できめ細かく処方の病院も



漢方は、西洋医学よりもはるかに長い歴史があるにもかかわらず、独特的考え方や診断方法のため、学問として普及しにくいものとされています。しかし、一度その効果を体験すると、その奥深さに魅了される医学でもあります。このコーナーでは、漢方に関するいろいろな情報をできるだけわかりやすくお伝えしていきたいと考えています。

漢方薬は、本来は生薬を煎じたものを服用しますが、近年では生薬を煎じたエキスを濃縮・乾燥させたエキス剤が広く普及しています。

病院で入手できる漢方薬は、保険診療で処方されるエキス剤がほとんどです。保険診療の場合、個人の負担は最も安く済みます。しかし、漢方に詳しい先生がなんとなく処方するケースもあり、効果がはっきりしないまま長期間

受診できますが、その分個人負担は大きくなります。

当クリニックでは、現在保険診療のエキス剤のみを処方しておりますが、漢方外来に来られた方には十分にお話を伺った上で、その方の体質にあった処方を中心がけております。

また、エキス剤での効果が不十分な場合、希望される方には自費診療での治療をされている先生への紹介もしておりますのでご相談ください。

（健康科学センター 診療所長 武生英一郎）